うえだ
上田高等学校関東同窓会・会報
第46号
12月6日
（金曜日）
平成3年
（1991年）
発行一
上田高等学校
関東同窓会事務局
発行人
会長　横山誠之助（42）
〒185　東京都国分寺市
東元町1－36－15
TEL.0423(22)2330
編集人　馬場　武彦（54）
題字は故垣垣征夫氏（14）

盛大に30回総会

三百余名で「秋玲瓏の…」

懇親パーティ恒例の新卒者の紹介

記念すべき上田高校関東同窓会第三十回総会は、さる六月二十九日(土)午後二時から一ツ橋の如水会館で華々しく開催された。

従来と異なる土曜日の昼間開催ということでその危惧も、会員をはじめ本部、母校、僚友校など多数のご来賓を加え三百余名の来場者での和やかな盛上りで霧散することができた。

又、二回目を迎えた福引大会には、前回を上回る多数の景品の数々が同窓生より提供され、大会を一層盛り上げた。総会を契機として、会員の親睦と相互理解促進の機会である同窓会の意義を改めて見つめた。

ご協力に感謝

会長　横山誠之助

のもとに盛況裡に終わることができ、本当に有難うございました。

今後も、一層の組織強化、財政の健全化、各期同窓会の活性化などを重要目標とするとともに、本部同窓会とも緊密な連絡を重ね、会員相互の親睦を重ね、会員相互の親睦と母校の発展に寄与したいと考えます。

どうぞ皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げるお言葉で開会のごあいさつとさせて頂きます。

さる六月の第30回総会は、お蔭様で盛会の絶大なご協力にささげられたテーブルで会員はじまる会場が盛り上がる。

段上から会員全員の記念撮影をし、全員で校歌斉唱の声が何時までもでてくる返えされた。

本部会員大会であいさつする横山会長

夏から秋の多い親睦な気候

横山会長は、90周年事業が着々と遂行されて立派な成果を上げていることは、同窓生の皆様のご協力のたまものと感謝申し上げます。

尽きる会場の盛会を心からお祝い申し上げる次第でございます。

総会

今回の第三十回で初めて土曜日の午後の大会、二時より第一部総会が、小林孝雄（42）副会長の開会の辞で初まった。

春日敦美（46）実行委員の先唱によって、厳かに校歌を全員で合唱、続いて横山誠之助（42）会長の「関東同窓会に寄せる力強い情熱溢れる挨拶があった。

昨年九十周年記念行事が行われた本部からは、金子八郎（39）理事長の出席をいただき、其の際に同窓生よりお寄せられた数々の激力に謝辞を述べられ、又現在建築中の小林育館着工までの経緯においても、いろんな苦労をされた。

母校よりお迎えした依田恒雄（48）校長先生から現在の上田高校で、実際に直面している学力問題の対策等をお聞きし、今年も予定の一時間を一杯に費した総会となった。

来賓

上田高校同窓会
理事長　金子八郎（39）
母校
学校長　依田恒雄（48）
旧担任　工藤恒良
旧担任　六川良明
副担任　新津雄二
長野県高校同窓会連合会
東京連合会長　小澤肇
事務局長　依田八治
上田染吾丘高校東京同窓会
会長　小林小春子
佐藤静子
鷹野美律子
上田千曲商業同窓会関東支部
会長　神林徳治
副会長　金澤芳世
副会長　田中節子
野沢北高校東京同窓会
会長　水間正冬
副会長　宮澤康造
事務局長　吉岡敏郎
上田高校同窓会東京支部
森　玲子
南沢さわ子
畠山陽子
櫛本静子
（敬称略）

懇親会

総会会場直ちに懇親会場へ繰り込む会員、混乱も起こさず事務局の司会進行でスタート、よりスムーズに、そして楽しい懇親会にと、来賓の皆様は二入場の際山崎秋（48）副会長が宮澤康造氏（48）校長先生から紹介、ご挨拶をお願いした。

会員相互の親睦には多くの時間を取り、会話の弾む中、

福引抽選大会が行なわれ、豪華な賞品が、校歌、同歌等をリード単な特典（別掲）を初め数々の景品で賑わい、寒も盛にき会を閉じ物（叶緑寒の名会を借って三十回の幕を閉じた。

母校から依田校長
金子本部理事長

沢利雄・田部敬・相田俊一・西澤義夫・清水貞吉・小林芳彦・小林和人・小山祝・富野しめ・山口直枝、（54）小市男夫・関正勝・後藤弘・望月節治・内山昌大・青柳文成、（55）堀内良幸・伊藤典久・渡辺勝国、（58）金井久、（60）小林秀芳・中垣貴三。

景品寄贈者

福引大会には、一四四点に及ぶ数の数々が同窓生より贈られた。

主な景品ご寄贈者

◆淡水真珠ネックレス　2箱
原嶋佐吉（44-5）
◆清酒ワンカップ月古酔60本
春日敦美（46）
◆清酒あ子鎗　30本
神林常視（46）
◆山歌昧噌　30個
小山邦朋（47）
◆アサヒビール　1ケース
三井　明（50）
◆アサヒビール　1ケース
青柳位紗男（52）
◆NEC全自動コードレスホーカー　1個
小林孝雄（42）
◆ライオン製品セット　7個
市河富雄（54）
◆米地福助小林セット　10個
田村　朗（54）
◆300記念名入ゴルフボール　2ケース
堀内良幸（55）
◆JTBギフトクルメ券1枚
池内紀雄（56）
◆テレフォンカード50度券　50枚　赤岡貞雄（54）
◆ビール券　関　正勝（54）

本部でも三年度会員大会

横山会長以下十数名が出席

台風がそれて真夏のような暑さの9月28日、上田農協会館（ニホール）で本部の平成3年度会員大会が開催された。

関東同窓会から本部の矢島五郎顧問（31期）、前会長の小林經司理事（40期）、菲沢嘉雄監事（36期）をはじめ横山会長、山崎、小木曽副会長、馬場幹事長の役員と本部の代議員の長藤勝（39期）、半田收（50期）の諸氏を含め10名以上が出席した。

三百名に及ぶ大会運営には51期、56期、61期、71期の各学年の幹事が当たり、受付開始から散会にいたるまで手際の良い大会であった。

(1)小林單治副理事長（37期）の荘重な開会の辞についで全員で校歌斉唱。

(2)金子八郎理事長（39期）は、「90周年記念の募金は予定以上に集まったことに感謝する」と丁重な謝意を表し、その記念事業の中で関西支部が設立されたことをのべられた。

(3)依田恒雄校長（48期）は今年度の卒生の8%が、現役進学を果たし、県下89校中第2位を占めた。しかし学力問題については論議が続いていることを説明された。

(4)佐藤圭司理事（54期）から明快な会務報告。

(5)来賓紹介のあと、横山誠之助会長（42期）と山田照雄西支部長（47期）から祝辞が述べられた。

横山会長は、90周年事業が着々と遂行されて立派な成果を上げていることは、同窓生の皆様のご協力のたまものと感謝申し上げます。

さる六月の第30回総会は、お蔭様で盛会の絶大なご協力にささげられたテーブルで会員はじまる会場が盛り上がる。

尽きる会場の盛会を心からお祝い申し上げる次第でございます。

(6)受賞者の紹介や祝電の披露があり予定より15分早く大会が終了した。

懇親パーティーに入り期別

原嶋貴石株式会社
富士宝石株式会社
代表取締役社長　原嶋佐吉（44-5期）
長野県人会連合会副会長・新宿区長野県人会会長
本社　東京都新宿区四谷三栄町6番地（第一原嶋ビル）
電話　（3353）0511（代）
FAX　（3358）1009

国際化時代——
貿易と物流システムのコンサルタント
貿易物流研究所
所長　小林孝雄（42期）
〒108 東京都港区三田3－2－1 弓和三田ビジデンス705号
TEL 03-5484-2231
FAX 03-5484-2232

コミュニケーションひろば

＝同期の集い＝

期日はOK、料理は不足……

―七月五日に総会反省会

七月五日、東京青山会館において、第三十回総会の実行委員による反省会を開催しました。

横山会長から総会における実行委員の皆様のご苦労に対する御礼と主要事項についての問題提起の形で挨拶がありこれを受けて、次のようなご意見が活発にかわされた。

(1)・初の土曜日開催で心配した面もあったが好評。
・二次会を各期ゆっくりできた。
(2)・開催時期は六月が良い。
(3)・会場は規模等にもよるが特に問題はない。
(4)・校歌斉唱は良かった。
・第I部だけでなく、第II部でも実施しては?
(5)・祝辞は勇断をもって短くすべきだ。
・祝辞は第I部・第II部それぞれ五分以内と枠組みを設けよ。
(6)・今年の来賓紹介方式はスマートだった。
(7)・受付は人数のアンバランスがあり、期分けに考慮が必要。
(8)・模擬店・おやきは、好評。
・料理が不足気味。今後は増す方向で考える。
(9)・大会運営上、会費の増額について検討も必要。
(10)・福引という企画は良いが運営方法に一考を。
・景品の受け渡しをスムーズに進めてほしい。
・福引は廃止すべきだ。
・オークションやビンゴゲームを実施しては。

来年の総会には、これらのご意見を充分に反映していきたいと考えている。

なお、当日欠席された実行委員の皆様に対し、改めて御礼を申し上げます。

☆大会出席者のお名前

(24) 富岡　秀　(25) 馬場長市　(28) 吉田為雄　坂井実雄　(29) 六川善一　(31) 矢島五郎　沢田光雄　(32) 渡辺綱男　中村礼三　清水信　永井義一　(34) 砂田昌寿　(35) 石倉謙一　(36) 松野　正　山本五助　武捨久男　小林正登　韮沢嘉雄　(37) 柳田　誠　岩田茂樹　関　邦雄　浅野恭平　(38) 清水幾男　矢島勇雄　(39) 長藤勝　小木曽学　菊地　博　(40) 小林郷司　丸山英一　小林政治　(41) 飯塚哲夫　生島信男　田中稔治　(42) 小林孝雄　横山誠之助　増田　厳　岩下　実　金子保夫　宮本武　(44-5) 北沢　守　柳沢和典　荻原理宏　原嶋佐吉　池田美登　生島和幸　久保田昭寿　中島和夫　手塚敬一　永井　厳　深井清久　小山厚三郎　(44-4) 堀内茂雄　児玉志郎　成田澄男　谷口満夫　峰村昭三　(45) 山辺　力　(46) 小西幸男　神林常視　春日敦美　甲田礼治　三井周　工藤忠房　臼田今朝雄　塩沢昭一　水沢　博　筑土秀玄　有賀　治　丸山浩一　長谷川潔　(47) 佐藤一郎　三井芳郎　斉掛元祇　(48) 小山馨　清水貞吾　田原　敬　小林和夫　中沢利雄　川上道輔　相田俊一　小林啓之介　山崎延秋　寺沢　明　小木曽誠章夫　小山　厳　伊藤正明　宮崎恵二郎　小林芳彦　西沢桐山博光　畠山　寛　富田幸正　堀内　惇　村上信三　小林富士雄　酒井良知　柳沢健　坂梨　港　(49) 土屋　正　宮坂　博　鶴見慎一郎　宮沢亨　花岡　潔　山岸光臣　(50) 尾和堅一　沼田　淳　西野　明　新堀英行　水野哲雄　五十嵐明迪　(51) 保坂利勝　太田幸男　飯塚　寿　有賀秀雄　村田　寛　(52) 池田松子　山口直枝　浜野しめ　柴田正人　柳沢　忠　小島芳次　上原佳和　飯塚和男　塚田進一　寺井巌章　(53) 堀内忠久　須田武久　金子節子　若林清和　古池弘樹　(54) 市河喜弘　関　正勝　斉掛文哉　内山良夫　後藤　弘　望月源治　馬場武彦　真道　茂　小市則夫　田村　朗　赤岡貞重　皆瀬森夫　浜村希志夫　橋田ちせ　久昌貴代江　中島隆之　小堺一雄　(55) 伊藤典久　堀内良幸　宮島光男　(56) 池内紀雄　渡辺善国　大久保治夫　藤井忠士　村井　弘　若林克寿　小山荘司　(57) 宮坂幸雄　(58) 金井　久　宮川克彦　荒井公雄　久保田達夫　小池晃　赤池三男　(60) 小林秀芳　中原眞三　竹内善尉　瀬川豊秀　沼形泰枝　(61) 三井文人　清水勝紀　由井　崇　山極敏郎　(62) 田島善光　西沢邦宣　片山隆行　(63) 山口芳輝　(64) 成田広行

〒通信欄から

出席者の便り

47期　三浦嘉治（公認会計士）
年会費はまとめて払っていますが、何時迄払ったか不明です。

45期　山邉　力（八王子公証役場）
公証人として一年六ヶ月。契約、遺言等に関する公正証書作成業務に従事しています。

41期　古松　彰（十文字学園）
楽しみにしております。

48期　西沢章夫（株・リクルート）
ご盛会を祈ります。幹事のみなさんご苦労様。

56期　小山荘司（早稲田高等学校）
「30回」の記念大会に久し振りに出席させていただきます。私の学校の教え子が、金子理事長の娘さんと結婚しています。縁は……味なものです。なつかしい顔との再会たのしみです。よろしくお願いします。事務局、幹事の皆さんご苦労様です。事務局の近くに住んでいますので、たまにはお手伝いしなければと思っているのですが……。

56期　若林克寿（東京学芸大学大泉中学校）
幹事の皆さまお世話様です。我々は日頃忘れていまして、総会のご連絡をいただく時に思い出し、楽しみにしています。

欠席者の便り

44・4期　黒岩四郎
今年度も田舎に法事があり出席出来ず、申し訳なく存じます。星野賢造、堀内茂雄、峰村昭三の各氏によろしくお伝え下さい。

53期　橋詰信幸（日本電気ホームエレクトロニクス・株）
幹事さんご苦労様です。都合により欠席させて戴きますが、総会の成功をお祈り致します。

47期　小山邦朋（信州味噌株式会社）
欠席で申し訳ありませんが、福引用景品を少々寄贈させて頂きます。価格、数量のバランスで御希望がありましたら遠慮なくお聞かせ下さい。

47期　牧内　操
ご無沙汰しています。益々のご盛会をお祈りしています。

上中三一会は臨時大会

平成三年九月四日小山一平参議院副議長公邸に於て、在郷京合同の三一会臨時大会開催。三時副議長室に集合議事堂院内見学、五反田公邸に移り、五時懇親会開催、七時解散。参加者在郷十一名在京十三名、計二十四名。

在郷、岩下清一、斉藤武男、金井正一、坂口育三、田中繁雄、寺沢正治、富岡隆、小宮山隆樹、堀内泉、半田義雄、松高三男。

在京、赤沼進吾、石川潔、宇野重懿、金井鉱二郎、後藤長英、沢田光雄、土屋学、寺田直、宮入秀夫、宮坂三吉、矢島五郎、小山一平、玉井康彦。

此の催しの裏面には、小山君の、同期生の党派を乗り越えた今日迄の支援への感謝の意が含まれ、又同期生は機会を得て、東京現地で水入らずの副議長就任への、お祝をしたいとの意図が宴に結びついて実現した次第。従って参議院等の懇切叮嚀な案内説明に、一同議員になった気持になり、宇野君厚意の車で、五反田公邸に移り、宴会。

寄寿を越したにも不拘「ドテガラス」に戻り、センテン、五銭、モクサン、キツネ迄飛出し、和気自ら堂に充ち種尽きず、帰国の時間もあり七時宴を閉じる。洵に楽しい一日であった。

（31期　玉井康彦）

34期は11月に

平成二年の34期会は、十月三十、三十一日の一泊の日程で、緑の山々に黄金色のミカンが日に映える、湯河原温泉にてひらきました。この日はいつもの会とことなり、欠席される方が多くて、九名の出席にとどまりました。それでも会は盛会であったことを喜び合いました。

会のはじめに、平成元年中に逝去された諸兄の御冥福を心から祈念して黙祷を捧げました。そして一同で健康と長寿を祈って乾杯、なごやかな宴に入りました。皆飲むほどに、放歌朗吟に時の過ぎるのも忘れるほど楽しい会でした。おひらきになって、各部屋にひきあげてから、なお一同歓談をつくし、思い出多き一夜を過ごし、翌朝、来年の再会を約して解散しました。

会報45号に、幹事の都合で寄稿できなかった、昨年の例会の模様の報告は以上の通りです。さて、平成三年の例会は、十一月五・六日の一泊の予定でひらくことを、只今連絡をして、目下参加者の返事が到着して、昨年よりは多くの旧友が参加されるようです。遠く長崎に転居した君も参加して、例年になく楽しく有意義な会をひらく望みもできております。

古城の門を出てより、五七星霜を経て懐旧の念はあつく、旧友に逢える喜びはうれしいものであります。

すでに男性の平均寿命を超えて、体調を悪くされている友もある状態の中で、健康も維持して集る友でありますから、最高に楽しい意義のある会をひらきたいと念願いたしています。

（34期　砂田昌寿）

まだまだ若い者には…

東京三六会も意気盛ん

三六会とは昭和十二年三月卒業の猛者どもの同期会である。卒業時は一五七名いたが戦死者三十一名、物故者三十五名を出し現在九十一名が生き残っている。今年は72才になるが皆なかなかかくしゃくたるものだ。しかしこの一年程の間に北村季夫、松下高吉、高山薫、矢ヶ崎三郎の四君が逝き、人の寿命のはかなさを感じ、哀惜の情止み難きものがある。ただ三六会の仲間には浅草寺に清水谷孝尚、本陽寺に小根澤義定、霊泉寺に上野徹玄の高僧が控えているので冥土の旅には心配はない。

東京三六会では毎年三月六日に浅草寺五重の塔院において清水谷孝尚大和尚の先導によって36期物故者慰霊の法要を営んでいる。今年も当日は伊藤稔寿郎、岡木博美、荻原信好、皆藤義久、掛川重義、工藤茂房、坂口蔵通、清水谷孝尚、田中六郎、田村和義、韮沢嘉雄、半田孝康、深井安児夫、松島久、松野正、武捨久男、山本五助、山城光雄、小林正登の十九名が参集し先に亡くなった尾崎毅、北村季夫両君の未亡人もお招きして懇ろに慰霊祭を行った。終了後は雷門わきの小柳で精進落としの宴席を設け、お互の健康を祝し、和気藹々と歓談した。五月十八日には全三六会を信州下高井の山田温泉風景館で開催し、各地より32名が馳せ参じ、大いに意気軒昂たるところを見せた。そして翌十九日は奥信濃の新緑を愛でて小布施より長野駅へいたる旅路を楽しんだ。

斯して36期もいつの間にか部厚い同窓会名簿の前の方に掲載され、同窓会に出ても先輩席に祭り上げられるようになり、いささか面映ゆい思いもある。とは言え、まだまだ世の為、人の為に役立とうと相変らず強気で張り切る今日此頃である。

平成三年十月六日
（36期　小林正登）

傘寿は過ぎたが米寿までも頑張るぞ▶
上田中学 25期会　平成3年10月21日於戸倉観泉ホテル白鳥園

和やかに湯河原温泉で34期会

▲多士済々な46期の面々
春日さん馴染みのレストランで

＝グループ&OB会＝

二〇歳迎えた松尾倶楽部

去る九月十九日、乃木坂の健保会館で第四十五回目の会合が開かれ、36期の韮沢嘉雄氏（世界経済研究協会専務理事）が、クーデター失敗後のソ連と題して講演した。ソ連滞在の体験をふまえてタイムリーな話題であり、活発な質問もあった。その前には、河野洋平衆議院議員から、日本の政治の話をきいた。

手前味噌になるが、このところ松尾倶楽部の活動は非常に盛んだ。講師も各界一流の人物を呼んできている。村松増美、田中直毅、磯村尚徳、井出孫六、佐渡ケ嶽慶兼、高畠通敏（いずれも敬称略）などそうそうたる人があり、テーマも国際関係からハイテク、税制、健康、現代の医学、金融、中国残留孤児、国際法など多岐にわたっている。特に47期の沢木敬郎立教大学教授の国際法での話では、中国での日本からの修学旅行の高校生の事故に関して、中国側から示された補償額のすくなさに日本側で不満が出たことに触れ、補償額も国力に応ずると話し、国際法がわれわれの生活に縁遠い存在ではないことを解からせてくれた。

倶楽部ではこうした講演会を年に三回位予定している。ではこの集まりが、硬い話ばかりに終始しているのかというと、そうではない。毎年二月には、新年会が開かれ、スペシャルゲストを呼んでくる。平成二年二月には、歌手紫倉まり子さんのリサイタルで、会場を酔わせた。

このほか見学会がある。いずれも関係者の好意を得て、なかなか見られないところをみることができる。

松尾倶楽部がスタートしたのは昭和四十六年八月だから今年で二十歳を越えた。講演会の出席者も当初の三十人前後から現在は六十人から百人近くになっている。これまで素適な講師やエンタテイナーが見つかってきたのも先輩、後輩の協力の賜物と感謝している。

（50期　小林　宏）

なお入会は、代表幹事の堀内惇（48期・☎三二五八-一九四一）ほか幹事まで。

◀熱弁／韮沢講師ソ連を語る

53期（昭和30年卒）同期会ご案内

日時・平成4年4月17日(金)　18時
場所・はあといん乃木坂（健保会館）　地下鉄千代田線乃木坂駅下車
会費・八千円（予定）
代表幹事代行　須田武久（一組）
連絡先　三三四二-三九一一（勤務先）

獅子会はゴルフコンペ

獅子会（44-5期の会）の第十三回のゴルフコンペが去る九月十三日山梨県山中湖畔の富士ゴルフコースで開催された。参加者は生駒・内海・荻原・久保田昭・手塚・永井・原嶋・柳沢和の諸君と、54期の小市・馬場の両氏で計十名であった。

前日の夕方、荻原君の世話で寄泊することとなったゴルフ場の近くのユニチカ山中荘に集り、楽しい懇親の宴が持たれた。管理人さんの心ずくしのすき焼料理に、ビール、日本酒もたっぷりとあって、宴は大いに盛上り、誰一人お互に遠慮、気兼ねすることもなく、先輩と後輩も心が解け合って戦中、戦後の想い出話等に話がはずみ、時の経つのを忘れる程であった。

特に明日のことを気にしてもどうにもならない高いハンデの連中程よく飲んでいた。

当日は昨日までの雨も上り、若干の霧があったものの、まずまずの天気であった。

昨夜大分飲んだ連中も皆元気で、全員闘志満々としてコンペに臨んだ。コースは中が広くゆったりとしており、芝付も良く、アップダウンも少なく、周囲の景色も松や杉や、檜の緑が美しく調和して申し分ないコースコンディションであった。三組に分かれて大いに頑張ったが、所詮奇跡が起きる筈もなく、シングルの者はきっちりとパーでまとめるのに反し、高ハンデ者はチョロったり、バンカーの大叩き、OB等相変らずで、終ってみればグロスで八〇台から一二〇台までにちらばっていた。

終了後、湖畔の中華料理店で成績発表、表彰を行い、本日のお互いの敢闘を称えて乾杯となった。優勝者は柳沢君でグロスで八二であった。

料理を食べながら今後の計画を相談し、四時半過ぎに解散となった。因に次回こそ警察通報番号（一一〇番）を切るぞと心に誓った者は、筆者を含めて約三名であった。

（44-5期　内海辰二）

大会に14名参加

46期生は、このところ年に3〜4回、同期の仲間から仲間へと、電話連絡程度で、いつも十数名程度のミーティングをもっている。だから顔ぶれは一定しないが、集まれる者が集い、旧交を暖める。そして序々にその輪を広げて行く。（この種の同期の会、やり方は、アメリカで実に多い）〜実に素晴しい。

これ等の成果と言えば、今年の関東同窓会には出席者が今まで数名だったものが、今回は、46期生から14名の諸君が参加した。

最近は10月4日(金)・春日君の馴染みの店で集った（写真参照）。幹事は神林君、丸山君、長谷川君、三井（周）君等。全員で13名、写真には何故か9名（おくれた者・トイレに行った者がいる?）

46期生は昭和22年卒だから、61才以上、全員殆んど現役で張切っている。企業の社長、大企業、団体の役員、地裁判事、幕僚長（水沢）、会計士（有坂）、僧侶、技師から、陶芸家（有賀）まで多士済済。塩沢君は来年丸子に帰省するので、この機に歓送会もやりたい。この会は未定だが工藤（忠）君、米津君あたりが幹事になりそうだ。

来年度は、この集いの輪から、久しく開いていない46期会を開催したいと声が大分多いようだ。

上中46期生は、関東同窓会に連なり、夫々の場に在って、広義の意味あいで、依然、国家、社会に貢献している事をお知せしたい。

尚、今回の集いで、山邉君が、45期の幹事に推薦された事を付記する。

（46期　小西幸男）

迎上田高校創立九十周年有感　因校歌而詠之

曲水詩社主幹　雨村　細川武敏　作（41期卒）

青衿出入古城門
青衿（学生の意）出で入る古城門

雪案蛍窓文教敦
雪案蛍窓（努力して勉学に励む）文教敦し

朝仰太郎夕千曲
朝に太郎（不動の心）を仰ぎ夕に千曲（不断の訓）

星霜九十顕名存
星霜九十顕名（かれもないほまれ）存す

この詩は上田高校創立九十周年を祝して詠じたもの、細川雨村氏は日本漢詩会の第一人者故笠井南村先生（嘗て上田中学の教諭）の高弟、現在曲水詩社の主幹、後進の指導に当っている。著書「曲水詩社詩選」等多数。

（41期　生島信夫）

卒業25周年に80名

我が62期生は終戦の年の昭和20年に産声を発しました。テレビ、新聞等や話題の中に戦後何年とよく耳にしますが、我が期の年令は戦後……年と常に一致しており、世の流れが我々を中心に動いているかの如く錯覚さえすることもあります。

また、母校を卒業した年は昭和39年で記念すべき東京オリンピックが開催された年でもあり卒業後の節目の年が解かり易くこれも何かの廻り合わせだと感じさせられます。

さて、我が期の活動について報告いたします。

先ず、我が期の役員として、幹事に田島善光、岩井重一（3組）世話役として石井武久（1組）田口敬二郎（2組）羽田啓吾（3組）秋田勇、中村真一（4組）依田欣五郎（5組）小泉邦夫、諸岡健児、松井由美（6組）宮崎信二（7組）片山隆行（8組）。

各クラス1〜3名おりこの役員にて、年数回親睦を深める目的で会合をしたり、ゴルフコンペを催し、又それ以外に過去、卒業10・15・20・25周年と5年に一度、節目の年に関東在住の我が62期生が大勢集まり、同期会を開催してまいりました。

最近では、平成2年2月20日（土）PM3時より霞山会館に於いて、その節目の卒業25周年記念パーティーを開催しました。卒業して四半世紀ということで、過去の四、五十名出席人員を更新させようと幹事始め世話役が一丸となり、参加を呼びかけたところ、総員80名（この間10名の有志が上田から上京）という大勢が参集し、3時間余りを立食パーティー型式で盛大に開催することができました。

卒業以来25年ぶりに再会した往年の紅顔の美少年・美少女も多く、25年前にタイムスリップした我々は、昔の思い出に話を咲かせ楽しい充実した一時を過ごしました。

以上のように我が期はアクティブに活動しており、これからの実年、壮年時代に向けてより活発に幹事を中心に、期の結束を固めていきたいと思っております。

（62期　秋田　勇）

6大学で活躍する

松尾球友会

上田高校の野球が東京六大学で活躍する歴史は古い。

明治時代活躍した、慶大の桜井弥一郎と、宮原清の名声を第一期黄金時代とするならば、現在は第四期黄金時代と云えるかも知れない。

明大三人、慶大一人に有望選手が入学している。

第二期黄金時代は、山崎紀典（57期）、倉島今朝徳（58期）が明大でクリーンアップを打って、優勝に導いた昭和三十年代である。倉島は主将を務め、後にプロ野球で七年間活躍した甲子園初出場組。

第三期黄金時代は、昭和五十年代初めに、東大渋沢稔と明大丸山清光が活躍した。二人とも（70期）で、上田高校の丸山・渋沢のバッテリーが明大と東大に分れた。そしてそれぞれの大学で主将を務めた。特に丸山は明大二連覇の原動力となり、渋沢は、あの江川卓が大学野球で打たれた第一号本塁打を記録している。

さて、第四期黄金時代を色どる四人、昭和六十二年甲子園出場組である。

明大の窪田衛吏はエースである。平成三年春季までに七勝を挙げ、三十六イニング無失点を続けた。もう三年生。

日置透も投手。速球は六大学でも屈指。窪田と共に明大投手陣を担う三年生。

片山聡は内野手で三年生。いずれ窪田、日置のバックを守ることになる。

慶大の西沢信司は内野手、理工の二年生。春の新人戦で活躍したから、ベンチ入りも近い。

さて、東京六大学で活躍するのは選手だけではない。六大学の審判員山崎紀典は、二十数年の経験を持ち、今や信頼が厚い。

東京六大学は、来年が面白い。上田高校出身の選手が神宮のグランドを駆けめぐるだろう。

こんな有望選手が出ることを願って、松尾球友会は賛助会員と共に、母校野球部を応援している。―文中敬称略―

北野建設株式会社
KITANO
横浜支店：横浜市中区本町4-43　TEL045-201-3761
本　　社：長野市県町524　TEL0262-33-5111（大代）
東京本社：東京都中央区銀座1-9-2　TEL03-3562-2331（大代）
支　　店：松本／大阪／新潟
営業所：上田／軽井沢／佐久／須坂／白馬／飯田／諏訪／上越／秋田／千葉／東関東／埼玉／高崎／西東京／川崎／港北／甲府
海外営業所　ニューヨーク／ジャカルタ／カイロ／ソロモン

今日から貴社の秘書
テレップ秘書センター
☎(03)3320-3111（代）
転送電話受・貴社名で応対
〈営業時間〉平日／9：00〜19：00　土曜日／9：00〜13：00
テレホンガイド　(03)3320-4646
JTB 日本交通公社グループ　株式会社テレップ
取締役業務部長　金井浩三（56期）
〒151　東京都渋谷区代々木2-6-9　第2田中ビル　2F

新企画登載
2面・通信欄から
4面・関東同窓会お耳役帖

人事・賃金・労務のことなら　月刊人事労務
株式会社経営企画センター
日本人事労務研究所
日本生産性本部認定　経営コンサルタント
堀内良幸（55期）
〒141　東京都品川区西五反田1-4-8-707
TEL (03)3492-0501（代）　FAX (03)3494-0296

世界第2位のホテルチェーンを30ヶ国に展開
Sleep　Comfort　Quality　Clarion
CHOICE HOTELS INTERNATIONAL
Friendship　Econo Lodge　Rodeway
チョイス・ホテルズ・インターナショナル
副社長　日本支社長　開発担当　藤村延魚（54期）
東京都千代田区丸の内3-4-1　新国際ビル835A　〒100
TEL.(03)3214-6691代　FAX.(03)3215-2040
予約専用フリーダイヤル　(0120)-123-999

年会費納入者

年会費の納入状況について

◎平成3年4月1日より3年9月30日までに、年会費を納入して頂きました会員の方々は次のとおりです。

◎年会費は、同窓会運営の基本となるものですので、何卒ご協力のほどお願いします。

◎**お名前の下につけてある数字は、年会費が納入済となっている年度（平成）を示しています。**

◎26期以前の大先輩からは、年会費は頂かないことになっております。

◎**恐縮ですが、平成3年度分の年会費を未納の方々は、事務局へ二千円ご送付頂ければ幸です。（振替用紙で）**

◎なお、お名前は順不同かつ敬称省略ですが、ご了承を。

【21期】2人　西沢慶二郎3　松平忠久6

【24期】2人　富岡秀5　茂木清文3

【28期】5人　小山陽太郎4　坂井実雄4　田中五郎4　吉田為雄4　小林清次3

【29期】3人　町田尚久3　六川善一3　岩下美千穂15

【30期】4人　斉藤清3　針塚正樹13　峰村文人6　西沢秀暁13

【31期】2人　矢島五郎4　矢ケ崎廣一3

【32期】7人　浅井敦5　清水信3　芹沢守利3　外山正博5　中村礼三5　林重夫4　渡辺綱男3

【33期】3人　朝日仁一5　北沢茂3　森五郎4

【34期】8人　神田精夫4　土屋信夫4　松井正直3　真峯秀雄3　佐藤祐三3　佐藤芳寿5　工藤恭治3　砂田昌寿6

【35期】6人　石倉謙一6　宇野智3　神津勝時3　白鳥繁5　城田賢5　滝沢正10

【36期】8人　掛川重義4　小林正登5　高遠弥六5　田中六郎5　韮沢嘉雄4　松野正5　武捨久雄4　山本五助3

【37期】8人　浅野恭平4　新井邦夫8　関邦夫4　田中藤平4　根津勇3　八田秀12　原田安雄4　大塚次郎4

【38期】6人　清水信吾6　高木弘行13　滝沢得一郎3　塚田祐三4　宮原敦3　矢島勇雄6

【39期】7人　阿部博5　大塚唯男4　小木曽学4　菊地博4　竹中幸彦4　田中孝彦6　橋詰亨15

【40期】12人　井本公一4　井上忠雄3　小林郷司3　小林政治5　児玉安彦3　佐藤麟也8　唐沢正己5　吉田光輝5　渡辺久雄6　武重三郎3　丸山英一11　柳沢喜三郎3

【41期】8人　生島信夫4　斉藤豊5　高森淳8　田口善孝3　田中稔治5　中沢全一3　山田富夫3　上原泰正15

【42期】13人　飯島叔男9　岩下実5　金子保夫5　小山成安3　佐藤良3　高野佐太夫13　永井重弘6　橋本英典8　堀内彬明3　丸山仁志3　六真山勝美3　横田種雄4　川英夫5

【43期】6人　上野敏雄8　小林朝衛9　小山栄治3　小林勇4　田中重樹4　向山光男3

【44・5期】14人　石井克己3　荻原理宏3　小山厚三郎4　篠原保4　竹越数6　手塚敬一3　土屋孝3　永井厳5　中島和夫5　深井清久4　柳沢広3　久保田昭寿3　池田美登3　柳沢和典4

【44・4期】7人　金子健4　黒岩喜四郎3　児玉志郎5　堀内茂雄3　山本太一5　所昭三3　谷口満夫3

【45期】1人　山辺力4

【46期】9人　有賀治6　甲田礼治7　塩沢昭一4　筑士秀玄4　三井周5　水沢博5　小西幸男3　長谷川潔4　丸山浩一5

【47期】11人　伊藤次男6　上野平八郎3　佐藤一郎3　滝沢七郎4　田沢徹4　中村義夫4　牧内操5　丸山栄一7　水野純4　宮嶋良造7　余地毅3

【48期】36人　相田俊一3　赤羽忠雄5　伊藤正明3　大角栄一4　大平暁3　小木曽誠3　川上道輔4　唐沢俊雄3　児玉和男7　小林和夫4　小林富士雄5　小林芳彦4　篠原泰司4　清水貞吾5　竹内元幸3　田原敬3　田村貞夫11　富田幸正4　中沢清男4　中沢利雄3　西沢章夫5　畠山寛3　堀内惇3　松本守弘4　村上信三4　柳沢健5　山崎延秋3　池田幸雄3　小山磐3　蒲田光雄3　坂梨港5　酒井良知6　宮坂啓象3　宮崎恵二郎4　依田好永3　佐藤健一7

【49期】14人　池田芳彦4　加藤毅3　久保利夫4　唐沢昭雄3　清水茂雄3　武井春雄4　滝沢茂夫3　鶴見慎一郎5　遠山益男4　牧内泰道9　宮坂博6　山岸光臣6　土屋正3　花岡潔5

【50期】16人　飯島圭一7　小大塚文芳3　金井忠雄8　武山洋之介7　滝沢主計3　重秀雄3　茅野忠重5　新堀英行4　水野哲雄4　山浦一徳3　山浦弘夫3　山内重昭7　渡辺洋一4　尾和堅一4　秋山忠利4　久保長行3

【51期】11人　荒井一男3　飯塚寿4　上原隆雄8　掛川国雄3　太田幸男4　西沢毅4　保坂利勝5　山辺俊一3　山村山寿男8　村田寛3　本晏久3

【52期】18人　青木功6　池内修6　池田松子7　小島芳次7　小林孝典6　小林盛男6　柴田正人9　関正利3　塚田進一6　橋爪今朝男9　浜野シメ6　松崎義一4　柳沢忠10　山口直枝7　柳沢正光4　飯島孝一8　小林岩夫4　滝沢利明3

【53期】8人　大塚教夫4　尾沢正毅3　原春夫4　岩崎渉3　掛川弥永3　北村礼子6　杉浦醇一7　堀内忠久4

【54期】25人　内山良夫6　河西秀夫5　小市則夫5　滝沢睦夫6　竹花正章4　土屋晃一5　成田崇宏8　中島隆之4　馬場武彦5　丸山俊二3　横沢武典5　真道茂8　後藤弘5　中村一彦4　市河富弘6　小堺一雄4　久昌貴代江7　斉掛文哉4　清水等3　皆瀬森夫5　玉野敏雄3　関正勝4　峯村正徳3　町田忠彦7　望月源治6

【55期】9人　有賀文昭4　木村和幸8　樫野達彦5　清水源喜5　堀内良幸4　宮島光男3　和田守8　荻原光夫3　滝沢哲三4

【56期】14人　大久保治夫5　久保田修3　神津進7　長坂光登6　中村勉7　若林克寿5　渡辺善國4　村井弘7　西江広之4　新沼惇雄3　藤井恵士4　寒川和彦3　宮坂卓3　山口雄史5

【57期】11人　神田昇5　小林恒雄3　杉原弘一3　竹内昭4　宮坂幸雄4　望月英明4　山崎紀典6　横沢武久8　池田教範14　武井義親11　小平節夫4

【58期】9人　井沢敬6　伊東啓治8　手塚洋兵3　林嘉市9　宮下秀久5　金井久4　小池晃4　浜光太郎3　宮川克彦5

【59期】2人　石塚洋一4　山口元彦3

【60期】6人　小林秀芳6　尾上朝子8　竹内善尉4　沼形泰枝3　中垣貫三5　山本哲之5

【61期】5人　清水勝紀4　宮島英紀9　由井崇3　山極敏郎4　井上希代子6

【62期】6人　秋田勇6　田島善光3　有光忠夫5　桑田博章3　遠山暁7　西沢邦宣3

【66期】2人　関口信3　田口博5

【68期】1人　小林照明3

【69期】3人　尾立孝司4　浅野祐三3　山村由紀子3

【70期】1人　渋沢稔3

【72期】1人　船渡和男3

【73期】1人　須貝博3

【74期】1人　坂口洋三7

【75期】1人　荻原美保3

【76期】1人　鳴沢真一3

【76期】1人　大塚敦3

【80期】1人　柳沢浩徳6

運営基金拠金者

前号発表分以降各期順
（3年4月〜10月3日）

期	氏名	金額
【25期】	三井忠直	一万円
【30期】	針塚正樹	一万円
【32期】	芹沢守利	一万円
【32期】	外山正博	一万円
【40期】	山本周三	一万円
【42期】	小林孝雄	一万円
【45期】	森　茂	一万円
【48期】	寺沢　明	一万円
【51期】	久保田豁	一万円
【52期】	柳沢　孝	一万円
【52期】	小林盛男	一万円
【54期】	丸山俊二	一万円
【55期】	荻原光夫	一万円
【72期】	船渡和男	一万円

累計　六四〇万円

関東同窓会　お耳役帖　その①

同窓生の動静を毎号お伝えしようと、お耳役帖を今号より掲載します。

島田次郎 先輩（21期）

第一線を退かれて現在は大田区の雪ヶ谷で悠々自適の毎日である。かつては東京ガスに在って活躍された大先輩。

「俺は大きな病気はしていないが足が弱くなったよ。だが耳は大丈夫。同窓会のこともよく聞えるよ。しっかりやってくれ給え。」

この秋、ご家族一同を引き連れられて上田市の菩提寺に墓参りを行なわれたとのこと。

郷里や郷党（同窓会）をこのうえなく愛される方。

大森頼雄 先輩（23期）

この春五月、初めて大病をされたが、七月初め退院されて現在は元気を回復された。

かつては防衛施設庁や大成道路でご活躍された。

「趣味らしい趣味はない。」とおっしゃるが同窓会に対する心遣いをして下さる。後輩に対する配慮も相変らずで、時には本音で語りかけ大きな声でハッパをかけることがある。

出身地の望月には年に一度ぐらい帰省される。

秋晴れの下、世田谷の桜丘界隈を散策される日々でもある。

馬場長市 先輩（25期）

昭和40年までグンゼでご活躍。80余才で会社役員として現役とは羨しい限り。松尾球友会の顧問として後輩の面倒もよく見られる。

「健康の秘訣は、なんでも食べること、よく歩くこと、物事を常に前向きに考えて、くよくよしないこと。」

旧制上田中学時代野球の選手で鍛えられたため、現在も非常に健康。

趣味はゴルフと囲碁。「157人もいた同級生が47人になってしまったのが淋しいね。」

でも本年のクラス会には15人集まる予定との事。

坂井実雄 先輩（28期）

習志野市に居住。

「近所のゴルフ場に一週間に2回はゴルフに行く。スコアーに関係なく、十八ホールを散歩するだけ。楽しみと健康法である。」

大蔵省の空気を長く吸われた先輩である。

東京同窓連の相談役や上田郷友会の幹事として毎月、会合にご出席される。

「案内が来ればできるだけ出席する様に心掛けている。若い人たちと接することで自分を鍛練できるから。」

矢島五郎 先輩（31期）

長野県の東京同窓会連合会で上田高校同窓会にその人ありと有名な先生。"趣味は同窓会じゃないか"と云う人がいる程。情熱を同窓会に傾注。

曽て、四校に及ぶ教師生活の立場も長く経験され、その教え子達の合同の同窓会である「矢風（しふう）の集い」大会も今年は9月22日、虎ノ門パストラルで開催、本会の横山会長はじめ同窓会役員も招待され約150名の大盛会。

実に面倒みの良い方。本業は川口市の矢島鋳工(株)の会長サマ。

神野勝男 先輩（36期）

船橋の文芸学園長。尺八はNHKの教室でも折紙つきの大先生。宗教家としての講演は老人クラブなど方々から依頼殺到。地元の政界で実力者として活躍する多才な人。元市長が毎年発起人で開かれる"勝生会"は9月7日フローラ西船で大盛会。坂井、矢島相談役はじめ多数が出席して72回の誕生を祝った。

みんなに会費を払わせて誕生祝をしてもらう楽しい人。

著書「老いを活かす」は力作。季刊「このひと」は既に21号。教育功労賞や自治功労賞など多々。

小林郷司 先輩（40期）

ご存知、第9代の前同窓会長。公認会計士事務所経営がご本業。長野経済短期大学の教授も兼ね、東京丸子会々長をはじめ役職多々。肥った身体に似合わず神経を使いながらのご多忙の毎日が続く。

練馬の自宅の書斎の書庫は重量に堪える特別構造なことは知る人ぞ知る。専門書をはじめ多岐にわたる山積みの蔵書はあまりにも有名である。

柳澤　廣 先輩（44-5期）

副会長は一期だったが矢島支部長のもとで二期を勤めた名幹事長。世が世であれば三百余年続く由緒ある柳澤家の何代目かの当主様。軽井沢から東京の会合に碓氷峠を越えてかけつける。「最近、感銘を受けた本は遠藤恭介先輩の書かれた"新田潤の生涯"だよ」。先輩を立てることなど人間関係の気遣いで"謙虚さ"は人後におちない。古武士然を身上とするオジサマも今やソフトボールに熱中とか。

事務局日誌

▼4月24日　会報45号の原稿印刷工場へ入稿。

▼4月27日　会報45号、第30回大会について協議。横山会長事務所へ、横山会長、山崎、小木曽両副会長、堀内会計長、馬場幹事長が参集。

▼5月8日　会報45号校正。中村、馬場。

▼5月11日　幹事会を5時より健保会館で50名が出席して、平成2年度事業・決算案、平成3年度事業・予算案、第30回大会、会報45号等について検討。大会実行委員担当期を選ぶ。

▼5月14日　会計監査。6時より如水会館で、飯塚、韮沢両監事より会計監査を受ける。

▼東信同窓会連合会総会。山崎、小木曽両副会長、堀内会計長、馬場幹事長が出席。

▼5月21日　相談役会開催。東京青山会館へ坂井実雄、矢島五郎、小林郷司の名相談役をお招きして、横山会長、小林(孝)、山崎、小木曽各副会長、馬場幹事長が出席。会務報告と30回大会の通信欄に寄せられた会員の声について和やかに歓談、ご指導を仰ぐ。

▼5月23日　長野県同窓連理事会。7月6日の総会について打合わせ。6時より健保会館で馬場幹事長が出席。

▼5月31日　会報45号　7千部刷了。即封入発送作業先へ配送。

▼6月1日　染谷丘高校東京同窓会が、浦安のシェラトングランデ・トーキョーベイ・ホテルで開催。横山会長、山崎会長、馬場幹事長出席。

▼6月3日　会報45号封入完了、神田局より会員、新卒、第30回大会招待先へ発送。

▼6月7日　会報45号を母校へ一千六百部送る。

▼第30回大会実行委員会。健保会館で24名が出席して、大会に向けての役割分担等について打合せ。

▼6月11日　福引景品の寄贈申し出が、春日敦美(46)、神林常視(46)氏より有り　共に清酒多数。

▼6月13日　野沢北高東京岳南会が健保会館で6時より。横山会長、小木曽副会長、馬場幹事長出席。

▼6月19日　福引景品に「山吹味噌」15袋を寄贈と、小山邦明(47)氏より申し出有り。

▼6月29日　第30回大会を一ツ橋の如水会館で、2時より開催。土曜日で2時は初の試みに。会員、来賓2百名が出席。5時に閉会となる。

▼7月5日　大会実行委員反省会を6時より東京青山会館で開き、横山会長他、20名が出席、楽しかった大会を振り返り、反省することも多々。

▼7月6日　長野県同窓連合会総会が健保会館で開かれ、山崎副会長、堀内会計長、馬場幹事長が出席。

▼7月24日　東信同窓連幹事会。健保会館で。山崎副会長、池田副幹事長出席。忘年会を12月6日、平成4年度京郷懇親会を4月18日に小諸市で開催と決定。

編集後記

6月29日に関東同窓会の総会が開催され、ほっとする間もなく会報「うえだ」46号の準備に掛り、初冬の頃、漸くお届けする事に至った。

一年に一度の総会が何とか楽しい集いにと、昨年から福引きを導入したり、進行に工夫を凝らすなどしているが、この会報も会員から親しまれる存在になるべく、今号から大会の出欠返信、会費納入の通信欄に寄せられた会員の声を掲載した。

もう一つの新企画は、永年同窓会発展に尽くされた、諸先輩方の近況を紹介した「お耳役帖」。次号はどんな同窓生が登場するかお楽しみに。

いつも乍ら多勢の会員諸兄のご協力に感謝。（馬場記）

旧県村（現東部町田中地区）出身者の上田高校同窓会

関東図南会

現在会員は24期より70期まで120名を擁し、毎年秋に総会を催し30名〜40名の出席を得てお互の近況や情報交換に、又故郷の思い出話に花をさかせ一層の親交を深めています。関東図南会を愛し夫々の活動に役立たせて下さい。お問合せは下記事務局で承っております。

役員

役職	氏名	氏名
会長	正村吉徳（41期西海野）	
幹事	橋本英典（42期本海野）	新保知右喜（52期　田中）
	池田教範（57期　加沢）	宮坂幸雄（57期西海野）
相談役	弘世弘信（33期　県）	小林正登（36期　常田）

事務局
〒171　東京都豊島区南池袋2-12-5
(株)プライム・システムズ内
関東図南会　宮坂幸雄
TEL 03-3987-2377

公認会計士
古畑克巳（69期）

（事務所）
東京都千代田区内神田1－18－11－1109
TEL 03（3293）8931　FAX 03（3295）6005